



新潟教区報 第131号  
 2021 (令和3) 年 11月30日 発行  
 編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会  
 〒940-2402  
 新潟県長岡市与板町与板乙 4356 本願寺新潟別院内  
 TEL: 0258-72-2120  
 FAX: 0258-72-2536

新潟教区・本願寺新潟別院 親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要並びに別院再建二十年記念法要の内容が決定

十一月九日(火)に第二回慶讃法要新潟教区推進委員会(以下法要委員会)が開催されました。法要委員会では、いくつかの事項が決定いたしましたのでお知らせいたします。

法要の期日は二〇二二(令和四)年十月二十二日(土)・二十三日(日)に修行となりました。

二十二日の参拝組は与板組・元上組・地藏堂組の三組。二十三日は長岡組・三条組・新潟組・巻組の四組となっております。参拝数は両日ともに百五十人程を予定しています。

法要当日のタイムスケジュールは左の予定となりました。

時間	法要・行事
12:15	帰敬式受式者集合
12:45	○帰敬式
13:30	参加者受付(和室) 会場準備 オリエンテーション(本堂)
14:00	○法要
14:45	○記念布教(30分)
15:15	準備
15:30	○記念行事(60分)
16:30	挨拶 <終了>

本法要では、帰敬式が実施されます。この機会にまだ帰敬式を受けられていない方は是非帰敬式を受式してください。申し込み方法等は決定次第またお知らせいたします。

記念行事は新潟県燕市出身フルート奏者・作曲家の本宮宏美さんによるフルート演奏に決まりました。

本宮さんはNHKの「チョコちゃんに叱られる!」やTBSの「世界ふしぎ発見」など多くのテレビ番組で楽曲が選曲・採用されている方です。

また、記念事業といたしまして、別院本堂・庫裏の外壁塗装工事と照明器具交換工事(LED化)を施工いたします。きれいになった新潟別院で皆様と法要を修行することを心待ちにしております。

法要まで残り一年を切りました。新潟県内の新型コロナウィルス感染症の感染者数は減少傾向にありますが、未だ新型コロナウィルス感染症の感染リスクは高まっています。先が見えない日々が続いています。これからも感染症対策を続けながら、法要に向けて準備を続けていきますので、皆様も一緒に法要への機運を高めていけたら幸いです。



# 法話 み教えに育てられるいのち

本願寺派布教使 与板組 常禅寺住職 旭 勲

平素の法務やご法事の際などで〈仏具〉の取り扱いなどをお伝えすることがあります。仏さまにお参りする際に用いる聖典や仏具を大切に扱ってもらいたい、との思いから行っています。

私はお通夜やご法事の際に『しんぎょうせい勤行聖典』(お経本)を持参し配布をして、お参りの皆さんと一緒に『しんじゆんねんがく正信心仏偈』をご唱和させていただきます。お経本を配布する際には必ず「お経本は経文が書かれた大切な書物ですので、床の上には直接置かず、唱和しない時には座布団や膝の上に保持していただくなどして、丁寧に扱ってくださいね」とお伝えしています。皆さまがお経本を丁寧に扱って下さる姿をみると、とてもうれしい気持ちになります。ではなぜ「お経が書かれた本」は丁寧に扱わなければならないのでしょうか。

先日、中学二年生の長女が学校から「社会の教科書を忘れた。自分の部屋に置いてあるので届けて欲しい」と電話をかけてきました。言われた通りに部屋に入ると、教科書が床に〈扇状〉に広げて置いてありました。その中から社会の教科書を探し、学校へ届けたのですが、長女が帰宅後に私は「教科書は床に置いてはいけない。ちゃんと本棚などに片付けなさい」と伝えました。「なぜ？」と言う長女に「教科書はあなたに知識を与え、育ててくれるものだから大切に扱いなさい」

と話をしました。「教科書はあなたに知識を与え、育ててくれるものだから大切に扱いなさい」という言葉は、実は私が幼い頃に実家の母に言われたものでした。それと同じ言葉を親となった今、子どもに伝えたのですが、それと同じような意味として〈お経本を丁寧に扱う〉とお伝えしているように思います。

浄土真宗のお経(聖教)には〈そのままのあなたを必ず救う〉という阿弥陀さまの願いが説かれています。どんな私のいのちも見捨てないという強い願いが文字として顕れて下さっているのがお経文なのです。私たちにいのちの価値を気づかせるはたらき、いのちの尊さ、大切さを教えてくれるのが浄土真宗のみ教えだと私は受け止めています。

私のいのちを育ててくれる教えが書かれているからこそ、お経本は丁寧に、大切に扱っていただきたいと思います。



# 本願寺新潟別院 謝恩講を修行

十月二十三日(土)・二十四日(日)の二日間、本願寺新潟別院の謝恩講を修行いたしました。本年は新型コロナウイルスの影響で昨年と同様にお斎は無く、出勤者も職員のみでの出勤で修行となりました。

ご法話は二十三日三条組至徳寺宗村泰行さん、二十四日三条組福勝寺黒田宙さんの兩名にご法話いただきました。

本願寺新潟別院謝恩講は旧与板別院建立時に、本堂の普請に取り掛かっていた際、信濃川の対岸から渡し船が沈み、人夫三十名が犠牲となる事故が起りました。また、幕末の混乱、戊辰戦争から明治維新

と急激な社会変動により、別院建立が一時的に中断しました。上棟式の目途も立たぬまま数年の月日が過ぎていく中、門信徒の方々の並々ならぬ熱意と中川正甫氏や倉重忠右衛門氏といった方々が、私財を投げ打ち、別院建立へ尽力し、明治三年(一八七〇年)に旧与板別院は完成いたしました。

別院建立の際に犠牲になられた方の追悼と別院建立の際に尽力いただいた皆様の方へ感謝するための法要が本願寺新潟別院謝恩講法要です。

今年度には新潟別院で修行した恒例法要は、新型コロナウイルスの影響から、通常通りの法要とはなりません。来年度は通常通りの法要が修行できる社会状況となっていることを強く願うばかりです。



ご法話をする、黒田宙さん(左)と宗村泰行さん(右)

# 社会実践部会 「傾聴講座」

日時 九月一日(水) 十三時三十分～十六時

会場 本願寺新潟別院本堂

テーマ 傾聴のための講習会

講師 長岡傾聴ボランティアサークル 田所典子さん

社会実践部会 「傾聴講座」について

社会実践部会長 小川 一幸(長岡組了覚寺住職)

コロナ禍において、安全に留意しながら、約二十名の参加をいただき、長岡傾聴ボランティアサークル会長の田所典子さんよりお話をいただきました。

最初に傾聴の意義について、「聞くとは自然に耳に入ってくるままに集中せずに聞く」「聴くとは相手に興味関心をもって注意深く聴く」ということであり、傾聴により相手の方は、心の中の想いを十分に話すことにより心が軽くなり、熱心に聴いてくれる人がいると気持ちも安定し、自分の存在価値や有用性を見出す。また、話すことで気持ちの整理ができ、自分で解決策を考えだすかもしれない。そのようなお手伝いをするのである。

傾聴の基本的な心構えとしては、

- 一、聴き手は話さない
- 二、相手の話を共感して聴く
- 三、受容的な態度で
- 四、聴いた話は他の人に話さない

この四点が大切であるとお話をいただきました。

その他、認知症高齢者への傾聴の理解と対応についてもお話していただきました。

相手の方に常に敬意を持ち、気持ちに寄り添っていくことの大切さを感じさせていただきました。





# 寺院巡り

## 元上組 正樂寺

しょうらくじ

住所 新潟県長岡市高島町六六八  
電話 〇二五八―二二一七二九



正樂寺本堂

滝谷町の了明寺(元上組)の縁起によると、沼垂郡沼垂村(現新潟市)に威徳院という真言宗の寺院が長承年中(一一三二―一一三五)に建立されていたが、承元四年(一一二〇)庚午、時の住職権大僧都直観法院(俗名岩崎七郎左衛門源政隆)が、当山に立ち寄った親鸞聖人の法を聴き、直ちに弟子となり、法名を了明房釋真観と授けられ、紺紙金泥六字名号を書き与えられたといひます。応仁二年(一四六八)戊子、真宗中興の祖、蓮如上人が当国下向の折、親鸞聖人より賜った法名をもつて了明寺と改め、時の住職浄雲が第一世となりました。その後弘治二年(一五五六)丙辰、上杉景勝の沼垂城攻めの兵火で焼失、魚沼郡高島(現小千谷市)、古志郡六日市、同郡滝谷(現長岡市金倉山の麓)に元和二年(一六一六)に移りました。

高山(現高島町)のお寺龍谷山正樂寺は、元禄八年(一六九五)乙亥、瀧谷山了明寺七世岩崎知空がこの地に分寺しました。安政元年(一八五四)甲寅、本堂新建。明治三十九年(一九〇六)本堂全焼、同年十一月再建、現在に至ります。昨年末、十二世継職立裕となる。活動は月参りを中心としています。コロナ禍でこれからは心配されますが、いづれ落ち着くと思ひます。一人ひとりを大切に日々宗旨とお寺を守っていきます。

教務所・別院からのお知らせ(会場記載がないものは新潟別院で行います)  
令和三年十二月十日〜令和四年三月十五日まで

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止や延期となる場合がございます。ご確認のうえ、お申込み・ご参加ください。

### ▽第三回同朋連続学習会

日時 十二月十三日(月) 十四時〜  
テーマ 「教団内の差別事件に学ぶ」  
講師 巻組 妙光寺 井上慶永さん

### ▽原発問題公開講座

日時 三月三日(木)  
会場 見附市文化ホール アルカディア  
テーマ 「原発問題を考える」  
上映映画 「朝日のあたる家」  
講師 映画監督・脚本家 太田隆文さん

### ▽越佐にんげん学校

第三回 十二月十五日(水) 「全国部落調査」復刻出版差し止め裁判の現状と課題(仮)  
第四回 一月十七日(月) 上越(A地区)の部落差別の歴史と差別解消に向けた私の取り組み  
第五回 二月十四日(月) 貧困対策『子ども食堂』くお腹いっぱい絆(キッズ)なサロンプロジェクト〜についての取り組み  
第六回 三月十五日(火) 新潟水平社百年の歴史―差別を許さずに輝いていた人々―  
時間 いずれも十五時三十分〜十七時  
※お申し込みの際は教務所までご連絡ください

### お悔やみ

生前のご功労を偲び、謹んでお悔やみ申しあげます。  
(令和三年七月二日〜令和三年十一月十五日)  
▼十月十九日 巻組 妙光寺前坊守 井上章子さん(七十九)